

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市大山街道ふるさと館	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 川崎市大山街道ふるさと館共同運営事業体 代表団体 公財)川崎市生涯学習財団 代表者 理事長 金井 則夫 住所 中原区今井南町514-1 構成団体 認定特定非営利活動法人教育活動総合サポートセンター	評価者	総務課長
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	所管課	高津区役所まちづくり推進部総務課

2. 事業実績

利用実績	貸室利用者数33,396人、貸室利用件数1,860件、展示室利用者数11,091人 ※上記のうち46件(58,410円)について減免を適用。
収支実績	収入総額26,170,539円(指定管理委託費23,617,866円、利用料金収入2,045,410円、雑収入507,263円) 支出総額26,170,539円
サービス向上の取組み	・ホームページについて、イベントチラシの掲載やメール問合せフォームの新設など利用者への訴求力が高い内容に刷新したほか、ウェブアクセシビリティの現況把握を業者に委託して実施する等、積極的な改善に取り組んだ。 ・貸室の施設整備にあたり、和室の畳表替え、座椅子の追加等、利用者意見を反映して実施した。 ・参加体験型の「街のマイスター体験講座」や「ぶらり散歩」を地元商店と連携して新規に開催し、街の魅力を広め地域の歴史への関心を喚起する機会を創出した。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	施設の設置目的に沿った適切な運営を行っているか	5	4(0.8)	4
	事業成果の測定	事業実施による成果の測定が適切に行われているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由) 事業計画に沿った過年度からの継続的な取組みのほか、DVDプレイヤーの設置による映像ライブラリの充実、企画展示説明リーフレットの作成、ミニ市民ギャラリーの実施等の新たな取組みが為され、市民の郷土理解促進と地域の文化活動発展により一層貢献した。 地域活性化事業においては、「高津区民祭」、「大山街道フェスタ」など地域行事への継続した協力に加え、館主催の「ふるさと館まつり」「サポーターズクラブまつり」のイベント開催を通じて地域団体との連携強化と館の認知度向上を図り、展示室利用者が開館以後初めて10,000人を超えた。					
管理業務の実施状況	維持管理等	施設利用の提供に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用料金	適正な料金徴収を行い、遺漏のない金銭管理を行っているか	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報公開を適切に行っているか	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4(0.8)	4
	人員配置	適切に職員を配置し、円滑なローテーションを行っているか	5	3(0.6)	3
	人材育成	業務に関する研修を行い、職員の資質の向上に努めているか	5	3(0.6)	3
	危機管理等	通常の安全管理や、緊急時を想定した計画・訓練などを行うとともに利用者のニーズの把握につとめ適切な対応を行っているか	5	3(0.6)	3
(評価の理由) 施設の老朽化が進む中、定期点検等を遺漏なく行い、適切な施設管理が為されている。 貸室利用について、稼働率は対前年度微増となっており、利用者意見を酌んだ施設整備や貸室機会拡大(予約システム外での直前予約受注)に努める等、精力的に利用促進策に取り組んでいることは評価に値する。 区役所が主導する防災関連の各種施策への積極的な協力、防災に関する訓練や研修の実施、備蓄品の充実など、万一の事態に備えた体制構築も着実に進められている。					
事業実施状況	施設を活用したサービスの提供	市民に親しまれるふれあいと学習の場を提供しているか。	10	4(0.8)	8
		地域団体や他施設と連携して魅力ある事業を展開しているか			
	施設の利用に関する業務	利用者の立場に立ったサービス提供を行い、利便性の向上に努めているか	15	4(0.9)	12
		充実した広報活動等により、施設の利用促進が図られているか			
	大山街道についての資料の展示等に関する業務	郷土の理解を促進する、魅力ある企画展を提供しているか	15	3(0.6)	9
常設展示について、魅力ある展示の工夫につとめているか					
事業の開催に関する業務	郷土理解の促進に寄与する文化事業や市民のニーズに即した文化事業を行っているか	5	4(0.8)	4	

収 支 状 況	(評価の理由) 前年度に開始したサポーターズクラブ主体のイベントについて時期と内容が整理され、当年度は春の「ふるさと館まつり」、夏の「高津区民祭」、秋の「サポーターズクラブまつり」、冬の「大山街道フェスタ」と、館主催事業と地域主体のイベントが季節毎に開催された。これらのイベントは地域活性化や地域団体との連携強化に寄与しただけでなく、通常の展示室利用者と異なる層の区民が来館したことで館の認知度向上にもつながった。 継続して取り組んでいる小中学生を対象とした各種地域学習については、教育に関する専門性の高さを活かし、館への生徒受け入れ、依頼による講師派遣、子ども大山街道探検クラブの活動、夏休み期間の自由課題支援など、子ども達の郷土理解を多方面から促進できており、歴史文化探求施設としての役割を十分に果たしている。 常設展においても、DVDの常時上映や展示室導入部スロープへの展示充実など、新鮮味が損なわれないよう工夫が見られた。				
	安定性	適切な収支計画に基づき、安定した運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	効率性	市民サービスの向上に努めながら、効率的な予算執行が図られているか	5	4(0.8)	4
(評価の理由) 収入の範囲内で経費を支出しており、適正な予算執行がなされている。 前年度と同程度の経費執行状況ながら、各事業において新規の取組みを実施し、結果として展示室利用者数を伸ばしていることは評価できる。					

4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

注) 評価点: 100点満点。評価ランク: 5段階評価

A: 80点以上 B: 70点以上80点未満 C: 60点以上70点未満 D: 40点以上60点未満 E: 40点未満

A: 特に優れている B: 優れている C: 適正である D: 改善が必要である E: 問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

適切かつ安全な施設維持管理や貸館業務の公平な処理等、指定管理者に求められる基本的事項を着実にいった。常設展や企画展の展示手法や内容の工夫、街道学習の受け入れ強化、地元商店と連携した講座の新規開催など、博物館事業・歴史文化探求事業・地域活性化事業それぞれにおいて満遍なく意欲的に取り組んだ。その結果が、主な講座の参加者数、貸館稼働率、展示室利用者数など各種指標に表れており、これらを評価点に反映させた。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

過年度の取組みを踏まえ、人材育成や利用者ニーズ把握等、サービス向上に係る各種取組みを継続しながら、事業計画に基づき事業を適正に実行すること。
貸館業務については、新ふれあいネット利用予約システムへの職員の対応を着実にいき、利用者に不便をきたすことなく円滑に事務を処理すること。また、公平かつ平等な利用を確保しつつ、貸室利用件数や稼働率の好調を維持すること。さらに、各種事業による来館者の増が貸館利用に結びつくよう来館者への訴求手法を検討するなど、各種機会を捉えた貸館利用料収入の向上の実現に向けて一層努めること。
施設管理にあたっては、安全な利用のための各種設備機器のメンテナンスはもとより、利用者意見を踏まえた設備の改善・充実に継続していき、利用者にとってより快適で利便性の高い施設となるよう工夫すること。
指定管理業務仕様書3(4)オに明示する故上田恒三氏寄贈資料の整理を、今期の指定管理期間中に完了させること。
これまで構築した地縁団体や文化団体との良好な関係を維持し、地域主体の行事への積極的な協力等や館主催事業における連携をさらに深めること。また、館主催事業の実施にあたっては、大山街道の歴史に関する関心喚起や沿道地域の活性化といった目的に沿った事業となっているか確認し、継続的に実施している事業であっても常に改善の視点を持って取り組むこと。また、世田谷区や伊勢原市など関連自治体との連携を図り、地域にとって魅力ある館となるよう展示内容の充実に努めるとともに、大山街道を目的とする来街者の増を通じた高津大山街道の振興に寄与すること。